

くらしや食のことに思いをめぐらしてみる 体験を通して縄文人になりきる

縄文人はどんなくらしをしていたのか？何を食べていたんだろう？当時のくらしをイメージしてみました。縄文人のファッションや鹿射ちや手仕事などの体験を通して、縄文人になりきって体験してみよう。（鹿の落とし穴体験は、鹿の気持ちを体験！）

▶ 鹿を射ってみる

的の鹿に向かって、弓矢を射ってみる体験コーナー。とぼすのもあてるのもとても難しく、縄文人の狩りのうまさにビックリ！



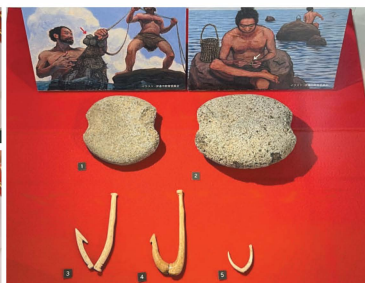
▶ 鹿穴にはまってみる

近隣地域でも多数見つかった鹿の落とし穴。大きな深さを実感できる穴を再現し、はまってみる体験コーナーに。



▶ 漁労と貝塚

年月の流れと地球規模での温暖化の関係を視覚的にわかりやすく展示。縄文時代の海岸線と現在の地図を重ね合わせることで、内陸に貝塚が存在していたことが分かる。貝塚からは北海道独特の食料文化を実感。



▶ 暮らしを知って、手仕事を体験

食べ物を得るための、狩りや調理の道具を工夫し、とても上手につくっていた様子が伝わる。現代の道具との対比や、縄の文様付け体験コーナーも。縄文人はとても器用だったことがわかる。

縄文を体感する

「ナチュの森」の施設や広大なガーデンでの 関連企画。五感を開く縄文体験

ナチュの森ならではの体験を通じて、縄文人の気持ちを五感で感じることができました。「縄文人は土偶をつくる時にどんな思いを込めていたのだろう」と考えながら親子で粘土を触り、つくり上げた土偶を野焼きして完成させました。広大なガーデンでは、縄文太鼓の音色が響き渡りました。また、カフェや図書館などの施設内では、縄文にちなんだ特別メニューや関連企画が大変人気となりました。



土偶をつくって野焼きしよう！

成形 ⇒ 8/31(土)、9/1(日)、7(土)、8(日)
野焼き ⇒ 9/21(土)

講師 障がい者就労支援事業所
いるば 28

粘土をこね野焼きして土偶をつくる喜びと縄文に想いをさせるワークショップ。隣接する空き地で、4時間ほどかけてゆっくりと焼成。薪をくべ、揺らぐ炎を眺めながら、ゆったりした時間を過ごしました。

縄文太鼓演奏会&縄文太鼓を 叩いてみよう！ 8/10(土)

講師 一般財団法人
縄文芸術文化財団

晴天のナチュの森のガーデンに響き渡る縄文太鼓の音色にうっとり。演奏後には、演奏家の方が太鼓の叩き方のレクチャーも。小さい子どもたちも楽しそうに太鼓を叩いていました。



POPUK STORE&WORKSHOP

● 障がい者就労支援事業所 いるば 28



縄文愛にあふれる作品がずらり。粘土で縄文をモチーフにしたマグネットブローチのワークショップも開催されました。

● ドニワ部



オモシロかわいいグッズの数々が並ぶストア。縄文キラキラおしゃれメガネ&コースター作りのワークショップも開催されました。

施設関連コンテンツ



● 森の図書室

会期中、縄文の特設コーナーが。北の縄文につながることや、興味のわいたキーワードから、選書され、展示から「知りた〜い」への架け橋になりました。



● スマイル食堂・蒸留カフェ

縄文カレーや縄文ピザなど、縄文人も食べていたであろう食材を使った期間限定メニューが。土偶などキャラクターのスイーツも登場しました。



● ショップ

T シャツや手ぬぐいなどの縄文関連グッズが並び、お土産としても大好評。



● アトリエ

国宝土偶、カクウがモデルのポタニカルアロマキャンドルづくりワークショップ

